

# 安心して暮らせるまちづくり



平松 秀一 町長

## 新型コロナウイルス感染症対策等の町の支援

○小規模事業者応援給付金  
営業活動の縮小・休業等で売上が大きく減少した町内の小規模事業者を応援するため、10万円を給付するもので、5月末現在で200件の申請を受け付けました。

○生活応援商品券事業  
町民への支援策として、町内のスーパーや小売店等の登録事業所で利用できる商品券を1世帯当たり1万1000円分発行します。7月中旬に町内全世帯へ送付する予定です。

○その他の支援  
出産間近の妊婦(希望者)のPCR検査を全額町負担で実施します。小中学校では、夏休みも通常授業をし、夏休み期間中の給食・弁当については、町が負担します。保育園で登園自粛要請に応じたいただいた家庭の保育料を日割り計算します。

## 新型コロナウイルスの対応 避難所における

過密状態を避けるため、可能な場合は親戚や知人の家への避難を検討していただく、健康広場等に乗用車で避難していただく。町のさまざまな不測の事態を想定し、新型コロナウイルスとの複合災害に対応できるよう関係機関と協議を行い準備してまいります。

**中部防災センター(仮称)の建設**  
防災活動の拠点として、耐震化された指定避難所や防災資機材等を備える倉庫を早急に整備する必要があります。

令和2年度に建設用地の地質調査、3年度に土木設計・施工、4年度から建築設計・施工を行い、5年度の完成を目指します。

# 感動・感謝・共感できる心の教育

## 令和2年度教育施策

昨年度から引き続き「有能な駒から、賢明な指し手へ」をキーワードに、教師も子どもも指示待ちではなく自ら考え判断し、主体的に仕事や学習を進めていく姿を目指します。

また、この姿勢を基盤にして、感動・感謝・共感できる心の教育の推進と連携・連動を意識した教育の推進を行います。

## ○須恵町教育月間

町民の教育に対する関心と理解を深めるとともに、ふるさとを愛し、ふるさとを担う子どもを育む目的で11月を「須恵町教育月間」とし、11月14日を「須恵町教育の日」に設定します。この日に、心の教



安河内 文彦 教育長

育の一貫として道徳の授業を公開し、保護者や地域の人の学校教育に対する関心や理解を一層深めたいと考えています。

## ○不登校及び不登校兆候の児童・生徒への対応の充実

一人でも多く復帰できるように、粘り強く継続的に取り組みを行ってまいります。具体的には、適応指導教室「やまももルーム」を活用し、社会的に自立できるような支援を行ってまいります。また、学校では定期的に適応促進委員会等を開き、組織的に対応してまいります。

スクールカウンセラーとも連携し、引き続き、きめ細やかな取り組みを行っていきたくと考えています。

## ○小中学校5校のICT整備計画

昨年12月に文部科学省よりGIGAスクール構想のもと、全国一律のICT環境の整備が打ち出されました。

本年度、無線LAN環境の整備を行い、全児童生徒への端末を整備する予定です。

# 議長通信

拡大版

## みんなの力で、コロナを乗り越えよう！



松山 力弥 議長

## 新たな日常

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「緊急事態宣言」が福岡県でも解除され、県は、商業施設の休業や営業時間短縮の要請を一部解除しました。須恵町においても、少しずつではありますが、商業施設、飲食店に灯りがともりだしました。

県の自粛要請にご協力いただいた事業者の皆さま、また、そこで

働かれている従業員の皆様、本当にありがとうございます。

町内の小中学校も分散登校を経て、6月から新型コロナウイルス対策を講じた通常授業となりました。児童・生徒の皆様はもちろんのこと、保護者の皆様もとりあえずは、ほっと一安心されたのではないのでしょうか。

今後、第2波、第3波の流行も予想されており、私達は新型コロナウイルスのある世界で暮らすことを理解し、感染対策を取り入れた「新たな日常」を始めなければなりません。

## 議会として

さて、6月定例議会は、会期を短縮し一般質問についても取りやめをいたしました。コロナ禍に伴い、町長が打ち出す生活や経済の

支援策が最善かどうかを積極的に議会として点検すべきとの考え方もありますが、会期を短縮したとしてもその手段は種々あります。

まずは、町議会が先頭に立って、三つの密(密閉、密集、密接)を避け、いち早く皆様の所へ1人10万円の国の特別定額給付金が届くよう、その事務に当たる町職員が交付事務に専念できるよう、全議員同意のもと行ったものです。

我々町議会も、住民の皆様とともに、この難局を乗り越えていくため、誠心誠意努めていきたいと存じます。

今回の議会広報は、議員各位からのコロナに立ち向かう住民の皆様への応援メッセージを掲載しました。このメッセージが、少しでも皆様の心の支えとなることを願っています。

最後になりますが、コロナの感染拡大が続く中、医療の最前線で働いていらっしゃる医療従事者の皆様に感謝と敬意を表し、町民みんなの力で、コロナを乗り越えていき、須恵町が以前の風景に戻ることを祈念いたします。

